2022年度 環境経営レポート

（２０２２年１月～２０２２年１２月　対象期間　）

２０２３年 ４月 ２０日　発行

日野屋貿易株式会社

®環境省
エコアクション21
認証番号 0004330

環境経営方針

＜環境理念＞

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、取扱製品の企画立案・設計・製造委託・販売等の事業活動において、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、持続可能な環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善を行い、汚染の予防に努めます。

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
②廃棄物排出量の削減（３Ｒ－減量、再使用、再生利用の推進）
③水資源の節水意識向上、節水努力
④自ら購入使用する商品のグリーン購入推進
⑤自らが生産・販売・提供する製品商品及びサービスに関する環境配慮

- 資源の有効活用（ワンウェイ容器→リターナブル容器の紹介、販促活動）
- 廃棄物再生利用（リサイクル原料使用製品…パレット等の紹介、販促活動）
- その他環境関連商品（エコマーク商品等）の紹介、販促活動

２．環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。

３．環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

４．本方針を全従業員（パートタイマー含む）に周知し、社外へ公開します。

制定日：2009 年 1 月 20 日
改定日：2020 年 1 月 20 日

日野屋貿易株式会社
代表取締役社長　武山照夫

□ 登録事業所の概要

１．　事業者名及び代表者名

日野屋貿易株式会社

代表取締役社長　武山照夫

２．　所在地

本社／大阪営業所　〒541-0045 大阪市中央区道修町 1-2-11

姫路支店　〒670-0956 姫路市安田 3-100

３．　環境管理責任者名及び環境管理事務局担当者名

責任者　代表取締役社長　武山照夫　℡06-6231-6331

担当者　総務課　前花美穂　℡06-6231-6331

４．　事業の概要

設立　昭和２２年８月

資本金　３４百万円

売上額　約６８０百万円（2022 年度）

従業員数　本社／大阪営業所…６名　姫路支店…３名

延床面積　本社／大阪営業所 118.80 ㎡　姫路支店 51.61 ㎡

営業内容　商社　取扱商品…物流資材（コンテナ、台車、パレット、ボビン等）、工業薬品、プラスチック成型品、LED、自動車用品等

事業年度　1 月 21 日～翌年 1 月 20 日（活動対象期間は 1 月 1 日～12 月 31 日）

５．　認証・登録の事業活動・対象事業所

事業活動　：物流包装梱包資材・環境関連商品・自動車用品等の仕入販売

対象事業所：本社・大阪営業所、姫路支店

□ 主な環境負荷の実績

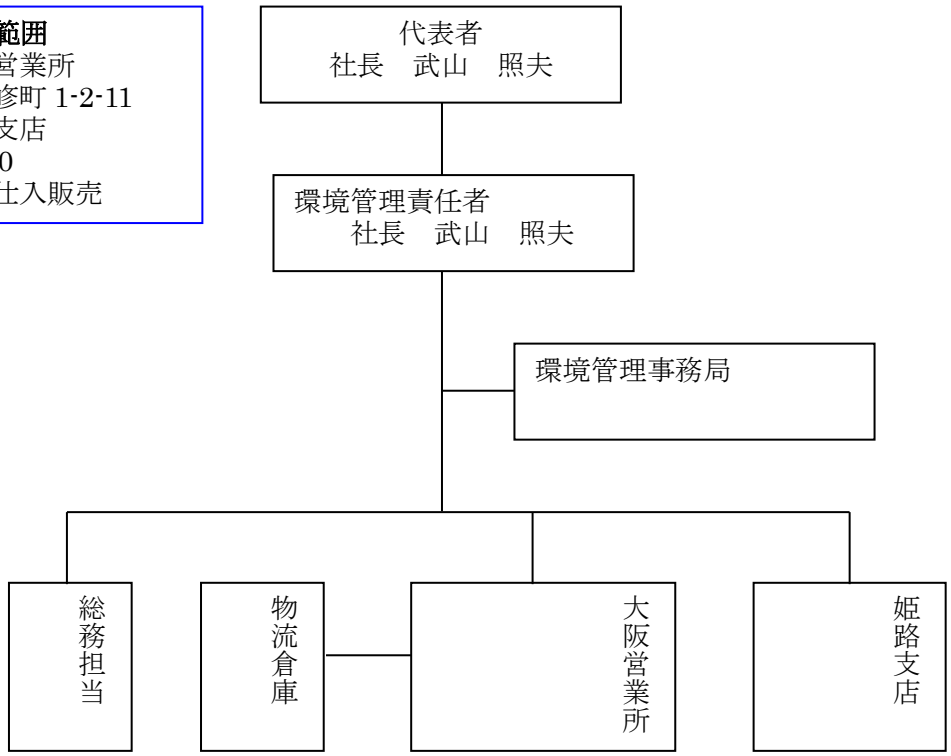
項　目	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量　kg - CO_2／年	24,271	23,319	20,204	15,361	15,535
電力使用量　kWh／年	12,580	11,978	11,521	11,915	12,107
ガソリン使用量　L／年	7,696	7,418	7,125	4,985	5,033
売上 100 万円当り	35,69	33,80	30.16	23.27	22.85
廃棄物排出量　kg／年	434	354	367	367	481

注1)　水使用量は、賃借オフィスで水道が共用となっており、数量を管理できない。

注2)　電力の二酸化炭素排出係数は、2018～2019 年度は関西電力公表の 2016 年度値 0.509kg-CO2/kWh を使用。2020 ～ 2022 年度は同 2019 年度調整後.318kg-CO2/kWh を使用。

日野屋貿易株式会社　環境経営実施体制

認証・登録の適用範囲
住所：本社／大阪営業所
　大阪市中央区道修町 1-2-11
関連事業所：姫路支店
　姫路市安田 3-100
活動：物流資材の仕入販売



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営計画書を承認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 環境経営目標及びその実績

（1）中期目標

項　　目		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		基準年度（実績）	目　標	目　標	目　標
二酸化炭素の削減 kg - CO_2		20,204	20,003 (1%削減)	19,800 (2%削減)	19,598 (3%削減)
	電力の削減 kWh	11,521	11,406 (1%削減)	11,291 (2%削減)	11,175 (3%削減)
	kg- CO2	3,664	3,627	3,590	3,554
	ガソリンの削減（L）	7,125	7,054 (1%削減)	6,983 (2%削減)	6,911 (3%削減)
	kg-CO2	16,541	16,377	16,210	16,046
ガソリン燃費向上 km/L		14.22	14.23 0.01km/L 向上	14.24 0.02km/L 向上	14.25 0.03km/L 向上
廃棄物再利用率		100%	100% (現状維持)	100% (現状維持)	100% (現状維持)
節水意識向上 節水努力		節水標語貼付 2 件	節水標語貼付 （新標語 2 件）	節水標語貼付 （新標語 2 件）	節水標語貼付 （新標語 2 件）
グリーン購入推進		情報収集 6 件	情報収集 7 件	情報収集 8 件	情報収集 9 件
ワンウェイ容器→リターナブル容器紹介販促		紹介販売 76 件	紹介販売 78 件	紹介販売 80 件	紹介販売 82 件
リサイクル原料使用製品の紹介販促		紹介販売 20 件	紹介販売 21 件	紹介販売 22 件	紹介販売 23 件
その他環境関連商品紹介販促		紹介販売 53 件	紹介販売 55 件	紹介販売 57 件	紹介販売 59 件

注１）2020 年度実績を新基準年度とした。注２）二酸化炭素排出係数は関西電力 2019 年度調整後 0.318kg-CO2/kWh を使用。注３）廃棄物はすべて一般廃棄物である。注４）廃棄物再利用率：分母は廃棄物総重量。分子はダンボール等再生可能資源の合計重量。注５）当社は化学物質を使用していない。注 6）2020 年度で前中期目標期間が終了したので 2021 年度より新中期目標を設定。

（２） 対象期間（2022 年度）の実績

項　　目		2020 年度(基準年度)	2022 年度		評　価
		実　績	目　標	実　績	結果と今後の方向（次年度の目標及び計画）
二酸化炭素の削減 kg - CO_2		20,204	19,800 (2%削減)	15,535 ◎達成率 127%	空調管理、燃費向上など更に社員の意識向上をはかる。
	電力の削減 kWh	11,521	11,291 (2%削減)	12,107 ×達成率 93%	コロナ対策により、止むを得ず窓を開けて冷暖房するなど、効率が低下した。
	kg- CO2	3,664	3,590	3,850	
	ガソリンの削減（L)	7,125	6,983 (2%削減)	5,033 ◎達成率 139%	コロナで営業活動が減少したこともあり削減につながった。今後エコドライブ 10 のすすめを徹底していく。
	kg-CO2	16,541	16,210	11,685	
ガソリン燃費向上 km/L		14.22	14.24 0.02km/L 向上	14.67 〇達成率 103%	エコドライブ 10 のすすめを今後とも徹底する。
廃棄物再利用率（可燃ゴミ除く）		100%	100% (現状維持)	100% 〇達成率 100%	廃棄物はほぼ全量再資源化出来ている。継続したい。
節水意識向上 節水努力		節水標語貼付 2 件	節水標語貼付（新標語 2 件）	新節水標語貼付 2 件 〇達成率 100%	洗面所、手洗に管理会社とも協力して掲示した。今後も適宜掲示する。
グリーン購入推進		情報収集 6 件	情報収集 8 件	情報収集 8 件 〇達成率 100%	取引先に情報収集を行った。自社購買も今後行う。
ワンウェイ容器→リターナブル容器紹介販促		紹介販売 76 件	紹介販売 80 件	71 件 ×達成率 89%	コロナで営業活動停滞し未達成。今後は更に意欲を以って取組む。
リサイクル原料使用製品の紹介販促		紹介販売 20 件	紹介販売 22 件	33 件 ◎達成率 150%	再生原料、成型品は利益低く営業では後回しになる。
その他環境関連商品紹介販促		紹介販売 53 件	紹介販売 57 件	39 件　×× 達成率 68%	コロナで営業活動が停滞し未達成。今後復活したい。

注 1）2020 年度実績を基準年度とした。 注２）二酸化炭素排出係数は関西電力 2019 年度調整後 0.318kg-CO2/kWh を使用。注 3) 廃棄物は全て一般廃棄物である。注４）廃棄物再利用率：分母は廃棄物総重量。分子はダンボール等再生可能資源の合計重量。注５）排水は把握できないため行動目標とした。注６）当社は化学物質を使用していない。注７）凡例 ◎大幅達成（115%以上）、〇達成、△やや未達成（97～100%未満）、×未達成、××大幅未達成（85%以下）。

□ 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連規制は次の通りである。

遵守すべき事項	適用される事項	評　価
毒物及び劇物取締法	毒物劇物一般販売業登録及び毒物劇物取扱責任者を置く	遵守
資源有効利用促進法	パソコン廃棄時適正処理	廃棄無し
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫廃棄時適正処理	廃棄無し
自動車リサイクル法	廃車時適正処理（引取業者、リサイクル費用）	廃棄無し
自動車 NOｘ・PM 法	自動車 NOｘ・PM の削減努力義務	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物、事業系一般廃棄物の適正処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制の逸脱はありませんでした。
過去３年間に亘って違反や訴訟はありません。

□ 代表者による全体評価と見直し・指示

全般にコロナの影響が大きく目標達成に障害となった。電力の削減については、空調管理の徹底など努力したが、換気のため窓を開けて冷暖房を行うなど未達成となった。ガソリンの削減目標については、コロナで営業活動が減少したこともあり目標を達成した。今後も燃費管理を更に推進し運転者の意識を高めていく。廃棄物再利用率は社員の意識が向上し、再利用率 100%をキープしている。環境配慮製品関連４項目（グリーン購入推進、ワンウェイ容器→リターナブル容器紹介販促、リサイクル原料使用製品の紹介販促、その他環境関連商品紹介販促）については、コロナで営業活動が停滞し、項目により未達成もあったが、今後は更に情報収集、商品の知識習得と PR、販売促進を進めていく。環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更の必要はありません。

以　　上

２０２３年3月２０日

代表取締役社長　　武　山　照　夫

私達は事業活動を通じて環境改善を目指します。次は一例です。

①リターナブル容器

- プラスチックダンボール製。
- 使い捨て容器からの切替えに。
- セットアップ、折り畳みがワンタッチ。
- リベットもプラスチックで再生容易。

②リターナブル容器

- 発泡プラスチックシート製。
- ワンウェイ容器からの切替えに。
- 折り畳んで完全フラットになります。
- 紙粉が出ない。水気に強い。

③廃プラ再生原料

- 盤木（船体架台）、擬木など。
- ポリエチレン再生原料使用。
- 写真は H350×W350×L 1500mm。
- 森林資源からの切替えに。

④特定フロン・エタン代替

- 工業用洗浄剤「ペトロセーフゾル」。
- フロン、エタンをしのぐ洗浄力、乾燥速度。
- 毒物劇物法、有機溶剤規則に非該当。
- 非危険物（指定可燃物）。

⑤　LED

・直管型、蛍光灯代替
・シンプル設計　→　低価格実現
・一般工場、野菜工場、植物工場
・消費電力大幅削減